



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2021
令和3年
4-20
No.584

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート



山ノ内町
東京五輪 聖火リレー

23年ぶりに「五輪開催の町」山ノ内に来た聖火リレー。子供たちは小さな手で拍手をしながら、聖火ランナーが掲げる東京五輪のトーチを見つめていました。コロナ禍の逆風が吹く中で開催された聖火リレー。万国旗を打ち振る子供たちの未来に、夢と感動を与える希望の灯が、引き継がれていくことを願わずにはいられません。「明日の世界をつくるのは子どもたち」

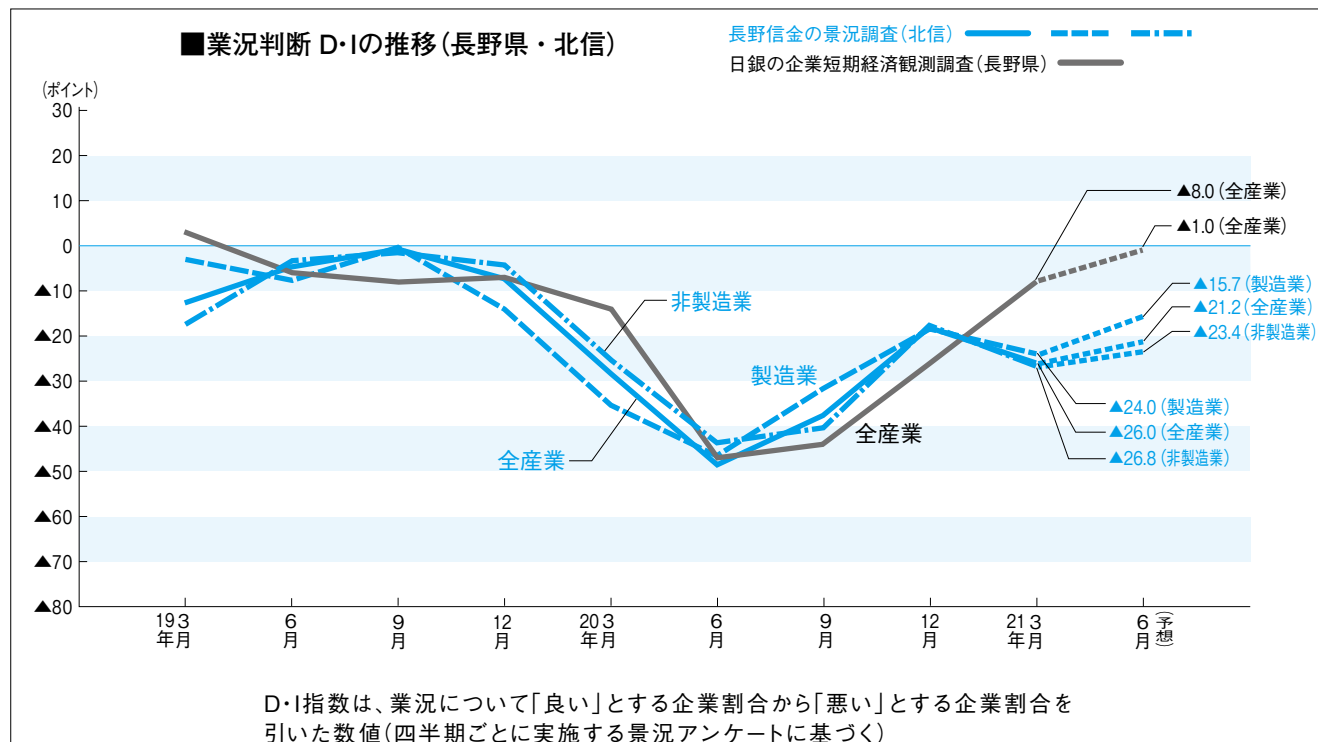
- 長野しんきん景況調査レポート…………… 2
- 企業アンケート 新型コロナウイルス感染症の影響 ① …… 6
- 生活者アンケート 新型コロナウイルス感染症 ① …… 9
- 北信濃 江戸時代の風景 (80) 善光寺門前 …… 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

 長野信用金庫

景況調査レポート 概況 (第183回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2021年1～3月期…景況の現状◇2021年4～6月期…景況の見通し



全産業▲18 → ▲26 製造業・非製造業ともに悪化

2021年1～3月期の業況判断D・Iは、全産業で8ポイント悪化して▲26となりました。製造業は5ポイント悪化の▲24、非製造業も9ポイント悪化の▲27です。

2021年4～6月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、5ポイント改善の▲21となりました。

◆北信地区の1月～3月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲18 → ▲26 (8ポイント悪化)	→ ▲21	
製造業	▲19 → ▲24 (5ポイント悪化)	→ ▲16	
非製造業	▲18 → ▲27 (9ポイント悪化)	→ ▲23	

非製造業▲18 → ▲27 全業種が悪化

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が▲8(前期比▲2ポイント)、卸小売業が▲38(同▲30ポイント)、

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲18 → ▲27 (9ポイント悪化)	→ ▲23	
建設業	▲2 → ▲8 (6ポイント悪化)	→ ▲17	
卸小売業	▲30 → ▲38 (8ポイント悪化)	→ ▲31	
サービス業	▲30 → ▲42 (12ポイント悪化)	→ ▲24	

サービス業が▲42(同▲30ポイント)となり、全業種が悪化しています。

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)		収益判断D・I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	▲7 → ▲28(悪化)	→ ▲25(悪化)	▲2 → ▲14(悪化)	
製造業	▲20 → ▲17(改善)	→ ▲14(悪化)	▲3 → ▲14(悪化)	
非製造業	▲1 → ▲33(悪化)	→ ▲30(悪化)	▲5 → ▲30(悪化)	

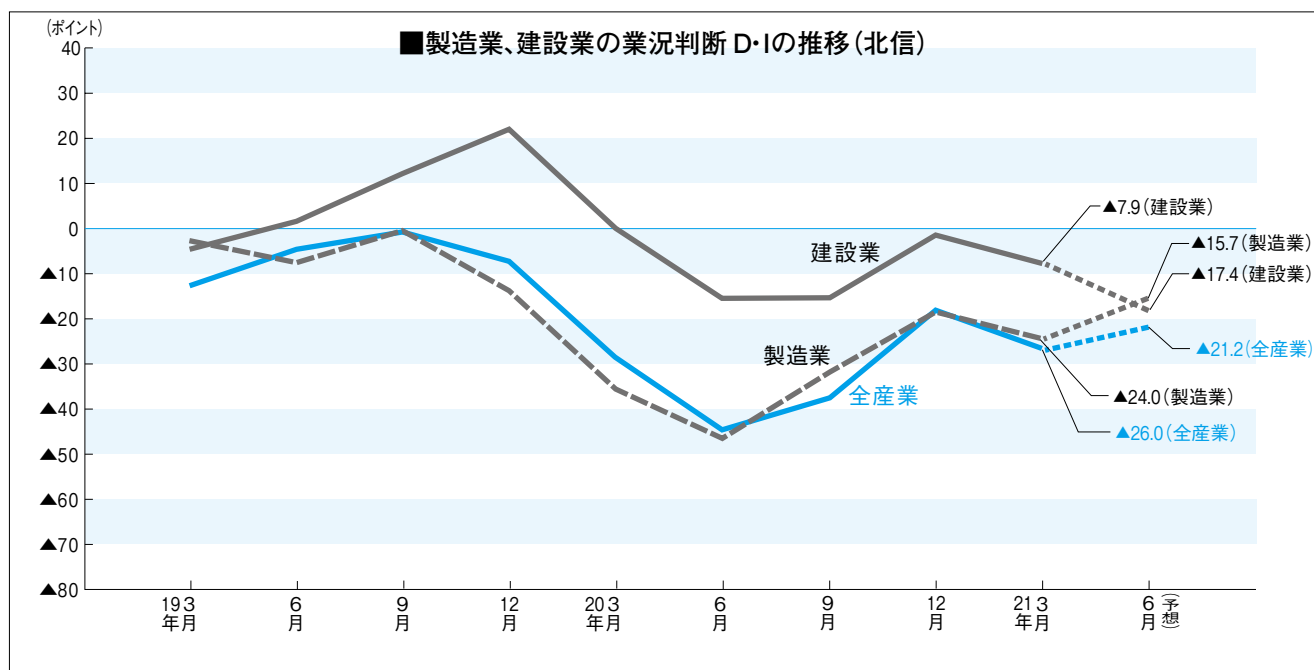
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	2020年6月	9月	12月	2021年3月	6月(予想)
全産業	▲44.6	▲37.6	▲18.1	▲26.0	▲21.2
製造業	▲46.5	▲31.9	▲18.5	▲24.0	▲15.7
非製造業	▲43.7	▲40.3	▲17.9	▲26.8	▲23.4

[調査要領]

●調査実施……2021年3月
●調査対象企業(回収)
製造業……71社
建設業……65社
卸小売業……45社
サービス業……45社

合計……226社
●回収率……86.9%
●従業員規模
30人未満……75.7%
●分析……D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

5割悪化して▲24に、来期は改善の予想

製造業の1～3月期の業況判断D・Iは▲24で、前期(▲19)に比べ5割悪化となりました。4～6月期は今期より8割改善の▲16の予想です。

	(前期)	10～12月期	▲19
◆業況判断D・I	(今期)	1～3月期	▲24
	(来期)	4～6月期	▲16(予想)

◇業種別業況判断D・I

改 善	金属加工・一般機械・精密機械
悪 化	食料品・電気機械・自動車部品

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲15 (18割悪化)

「増益」割合	前期 28% → 21% (7割減少)
「減益」割合	前期 25% → 36% (11割増加)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期 32% → 30% (2割減少)
「収支トントン」	前期 42% → 47% (5割増加)
「赤字」	前期 25% → 23% (2割減少)

企業からのコメント

- ☆★緊急事態宣言の解除で、出荷量は増加傾向にある。一方、中国産そば粉の大幅な値上がりで、今後、影響が出てくると思われる。(そば、その他和麺製造)
- ★☆飲食店、サービスエリア等の土産品店、宿泊施設の業務用に出荷している会社は厳しい。スーパー向けの会社は家庭内需要が多く好調である。(味噌)
- ★材料の鉄が品薄で確保が難しく、価格も高騰して、製造原価に影響が出そうだ。(精密板金部品)

建設業の景況

6割悪化して▲8に、来期も悪化の予想

建設業の1～3月期の業況判断D・Iは▲8で、前回(▲2)に比べ6割悪化しています。4～6月期は今期より9割悪化の▲17の予想です。

	(前期)	10～12月期	▲2
◆業況判断D・I	(今期)	1～3月期	▲8
	(来期)	4～6月期	▲17(予想)

◇業種別	総合建設	前期 +20 → +27 (7割改善)
	土木工事	前期 ▲17 → +20 (37割改善)
	建 築	前期 ± 0 → ▲26 (26割悪化)
	各種設備	前期 ▲25 → ▲18 (7割改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲19 (6割悪化)

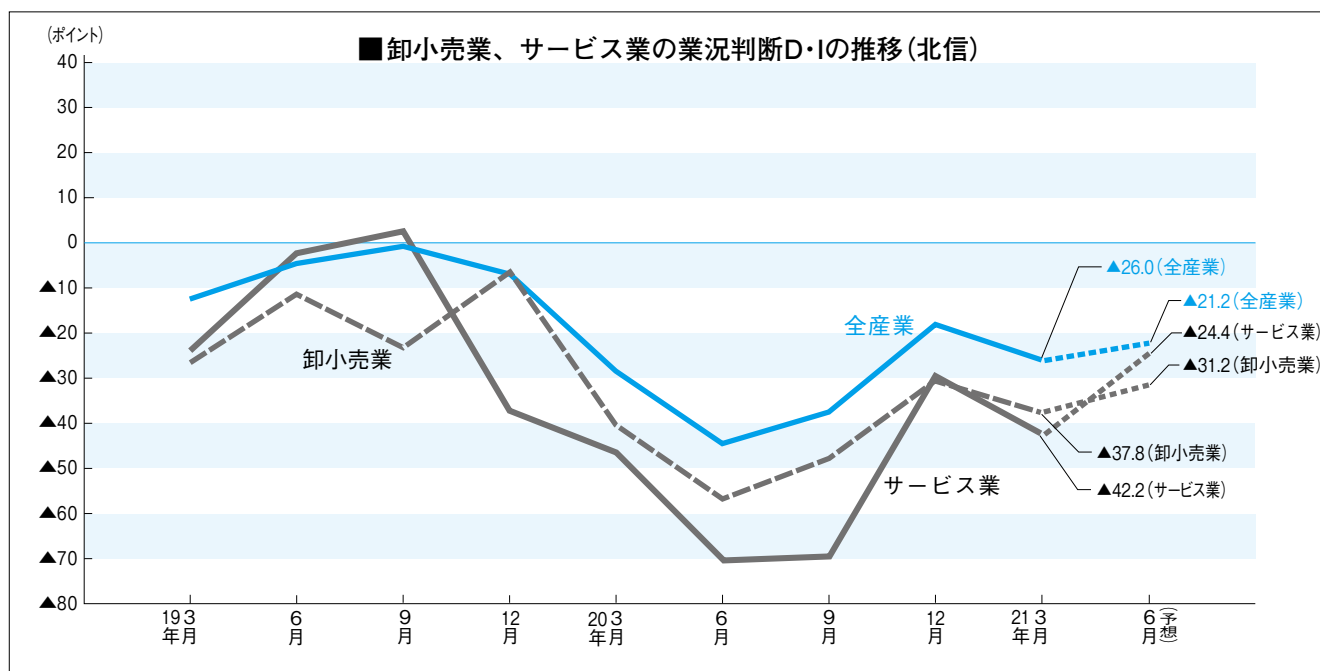
「増益」割合	前期 17% → 16% (1割減少)
「減益」割合	前期 30% → 34% (4割増加)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 2% → 48% (46割増加)
「収支トントン」	前期 48% → 46% (2割減少)
「赤字」	前期 2% → 6% (4割増加)

企業からのコメント

- ☆★台風災害の復旧工事や住宅のリフォーム工事が多少あるが、民間の住宅新築工事に関しては、良い条件の物件があまりない。(総合建設)
- ★北信地域の新築住宅の着工数が減少している。コロナ禍の先送りと思われる。(一般建築)
- ★コロナ感染拡大により、住宅相談会などの開催が出来ず、今後の受注確保が当面の課題である。(建築)



卸小売業の景況

8割悪化の▲38、来期は改善の予想

卸小売業の1～3月期の業況判断D・Iは▲38で、前回（▲30）に比べ8割悪化しました。4～6月期の業況判断D・Iは7割改善の▲31の予想です。

	（前期）	10～12月期	▲30
◆業況判断D・I	（今期）	1～3月期	▲38
	（来期）	4～6月期	▲31（予想）

◇業種別	卸売業	前期	▲18 → ▲39（21割悪化）
	小売業	前期	▲39 → ▲37（2割改善）

◆収益判断D・I（「増益」－「減益」）…▲40（35割悪化）

「増益」割合 前期 28% → 11%（17割減少）

「減益」割合 前期 33% → 51%（18割増加）

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」 前期 41% → 38%（3割減少）

「収支トントン」 前期 34% → 36%（2割増加）

「赤字」 前期 25% → 27%（2割増加）

企業からのコメント

★新型コロナの影響で、企業の設備投資の意欲が低下しており、当社だけではなく、建築資材卸業全体が低迷している。（建築資材卸）

☆新車販売に関しては回復傾向にある。決算セールなども従前のように実施しており、コロナの影響は軽微なものとなりつつある。（自動車販売）

☆土物（ジャガイモやネギなど）は高いが、スーパーの売上は“巣ごもり消費”で好調のようだ。（青果卸）

サービス業の景況

13割悪化の▲42、来期は改善の予想

サービス業全体の1～3月期の業況判断D・Iは▲42で、前回（▲30）と比べ12割悪化しました。業種別では、サービス・不動産が改善しています。

4～6月期の業況判断D・I（予想）は18割改善の▲24です。

	（前期）	10～12月期	▲30
◆業況判断D・I	（今期）	1～3月期	▲42
	（来期）	4～6月期	▲24（予想）

◇業種別業況判断D・I

サービス 前期 ▲50 → ±0（50割改善）

輸送 前期 ▲40 → ▲50（10割悪化）

タクシー 前期 ▲100 → ▲100（横ばい）

運輸 前期 ▲14 → ▲29（15割悪化）

外食 前期 ▲33 → ▲63（30割悪化）

観光 前期 ±0 → ▲100（100割悪化）

不動産 前期 ▲20 → ±0（20割改善）

企業からのコメント

★長野県全体で、累計4割強の減収状況にある。このままでは事業の継続が懸念される。（タクシー）

★コロナの影響で人事異動も減り、3～4月上旬の引越業務が減少する見通し。燃料価格も上昇しており、収益への影響が懸念される。

☆★物流は動きつつあるが、運送賃の値上げなど思うように進まず厳しい状況である。（以上運送）

☆★昨年12月のGoToトラベルの停止で元の状況に戻る。県民割や山ノ内クーポンの効果は限定的。（旅館）

雇用情勢 1～3月期

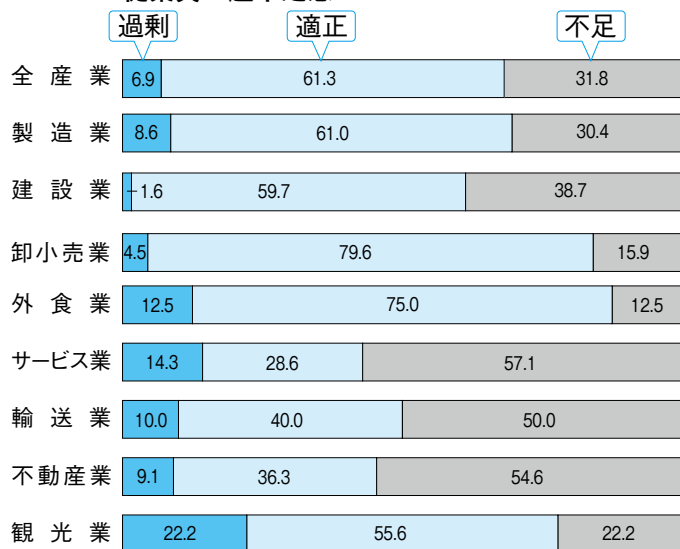
建設・卸小売・輸送・観光が改善

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲25となり、前回（▲27）より2ポイント改善しています。

雇用情勢（「過剰」－「不足」）

業 種	前期(10～12月)	今期(1～3月)
全産業	▲26.7	▲24.9
製造業	▲4.5	▲21.8
建設業	▲56.3	▲37.1
卸小売業	▲23.3	▲11.4
外食業	±0	±0
サービス業	▲25.0	▲42.8
輸送業	▲50.0	▲40.0
不動産業	▲9.1	▲45.5
観光業	▲28.6	±0

従業員の過不足感（％）



(資料:当金庫)

資金繰り 1～3月期

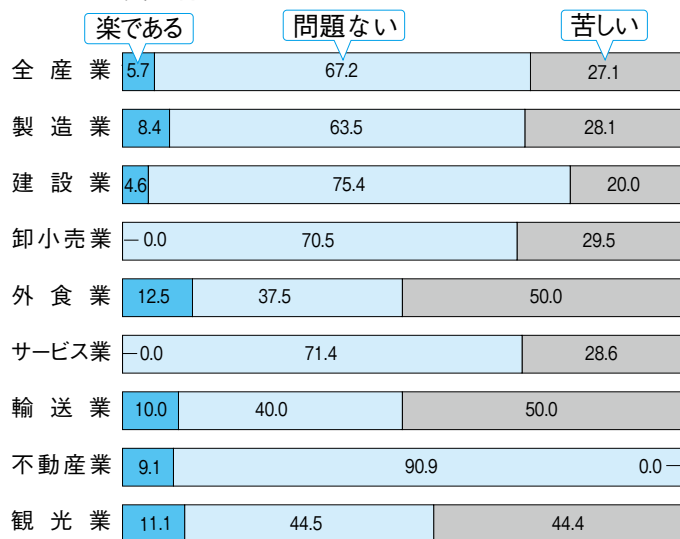
不動産は改善、建設・輸送はやや改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲21となり、前回（▲16）より5ポイント悪化しています。

資金繰り（「楽である」－「苦しい」）

業 種	前期(10～12月)	今期(1～3月)	来期(4～6月)
全産業	▲15.7	▲21.4	▲23.0
製造業	▲15.5	▲19.7	▲15.5
建設業	▲20.0	▲15.4	▲28.1
卸小売業	▲14.0	▲29.5	▲29.6
外食業	▲22.2	▲37.5	▲25.0
サービス業	+12.5	▲28.6	▲16.7
輸送業	▲50.0	▲40.0	▲30.0
不動産業	▲18.2	+9.1	±0
観光業	+42.9	▲33.3	▲33.3

資金繰り状況感（％）



(資料:当金庫)

販売価格動向 1～3月期

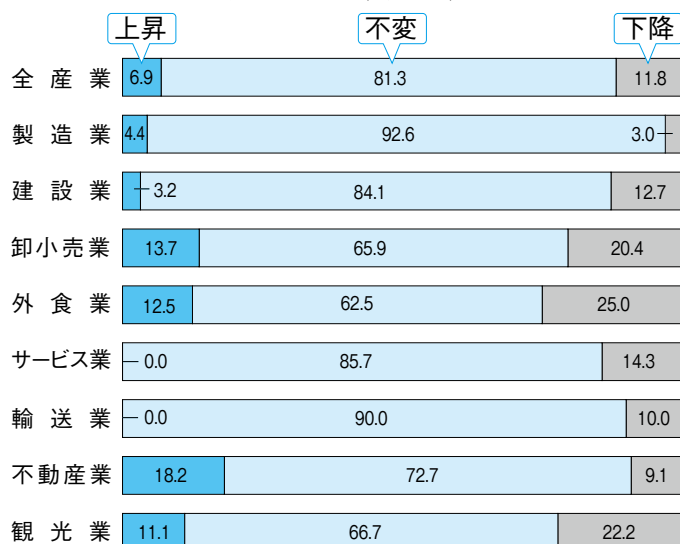
製造・不動産が上昇、外食は改善

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で▲5となり、前回（▲3）に比べ2ポイント悪化しています。

販売価格動向（「上昇」－「下降」）

業 種	前期(10～12月)	今期(1～3月)	来期(4～6月)
全産業	▲3.2	▲4.9	+2.3
製造業	▲5.6	+1.4	▲3.0
建設業	▲4.9	▲9.5	▲1.6
卸小売業	▲4.6	▲6.7	▲9.2
外食業	▲22.2	▲12.5	+12.5
サービス業	▲12.5	▲14.3	▲16.7
輸送業	▲10.0	▲10.0	▲10.0
不動産業	±0	+9.1	+18.2
観光業	+28.6	▲11.1	+33.3

業種別販売価格動向(対前期)（％）



(資料:当金庫)

懸念される—業績への影響

「マイナスの影響続く」46%「発生する可能性」18%「マイナスの影響が回復」12%

業績への影響 「マイナスの影響が継続している」が5割弱で最も多く、「今後発生の可能性がある」(2割弱)、「マイナスの影響が出たが回復した」(1割強)となりました。

実施した対応策(複数回答) トップ3は「感染防止策の徹底」(83%)、「借入等による資金調達」(39%)、「時短や休業等の業務縮小」(24%)です。

業績への影響

「マイナスの影響が継続中」46%
「今後発生の可能性あり」18%
「マイナスの影響が回復」12%

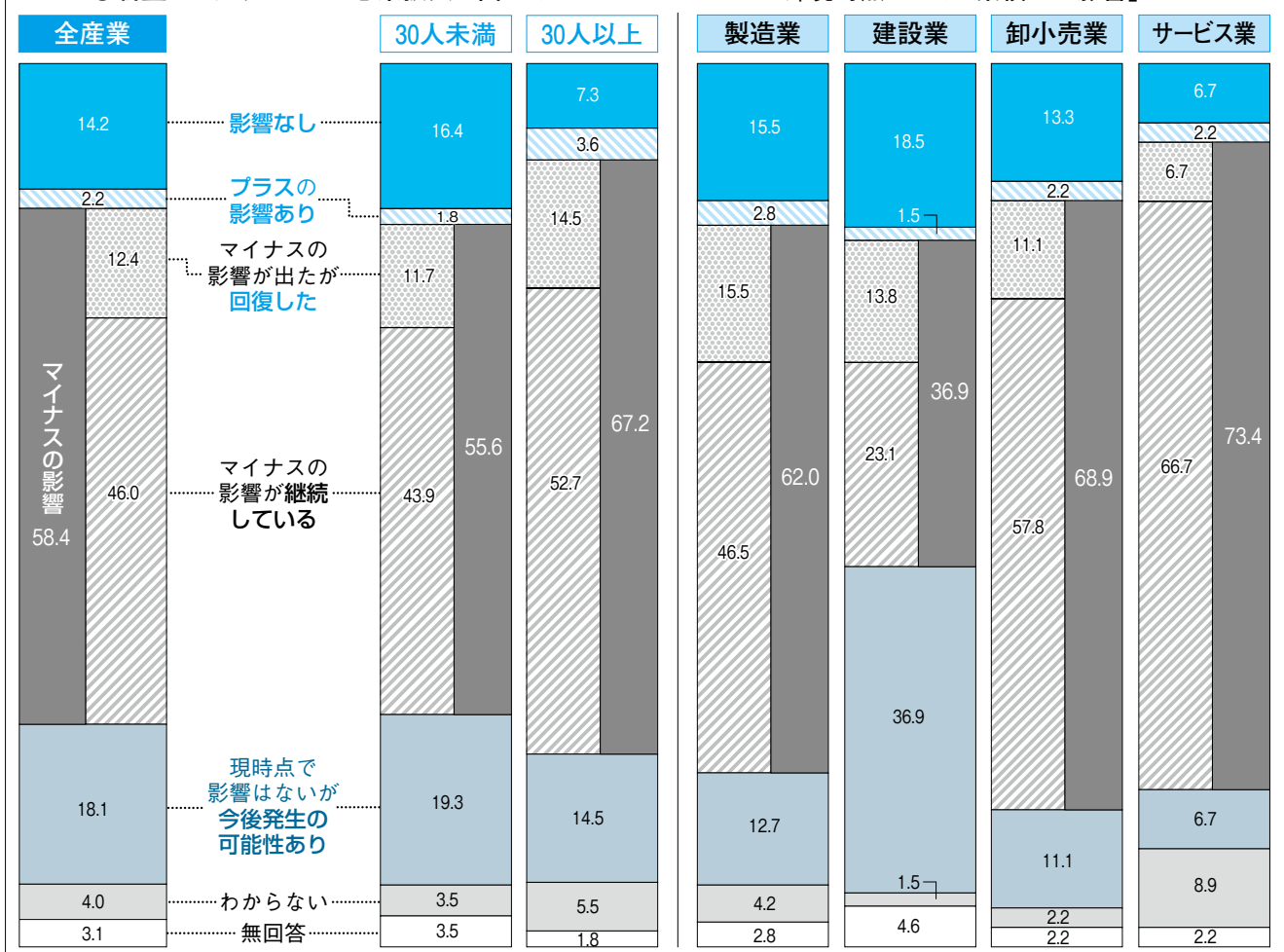
「新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかか

りませんが、現時点における業績への影響」を聞きました。

「プラスの影響あり」が2%、「影響なし」が14%ですが、「マイナスの影響が出たが回復した」(12%)と「マイナスの影響が継続している」(46%)を合わせた「マイナスの影響」は6割弱(58%)にのびています。「現時点で影響はないが、今後発生の可能性あり」が18%、「わからない」が4%でした。

これらを従業員規模で比べると、30人未満は「影響なし」(16%)が9割、「今後発生の可能性あり」(19%)が5割、それぞれ30人以上より高くなっています。30人以上は「マイナスの影響が継続している」(53%)が9割、30人未満より高くなりました。

●新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかかっていませんが、「現時点における業績への影響」は (%)



業種別

「プラスの影響あり」製造業 3%

「マイナスの影響が回復」製造業 16%

「影響なし」建設業 19%

「今後発生の可能性あり」建設業 37%

「マイナスの影響が継続中」サービス業 67%

製造業 「プラスの影響あり」(3%)と「マイナスの影響が出たが回復した」(16%)が他業種に比べ最も高くなりました。

建設業 「影響なし」(19%)と「今後発生の可能性あり」(37%)が他業種に比べ最も高く、他方、「マイナスの影響が継続している」(23%)と「プラスの影響あり」(2%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 どの項目も、業種の中で2位か3位となっています。

サービス業 「マイナスの影響が継続している」(67%)と「わからない」(9%)が他業種に比べ最も高く、他方、「影響なし」(7%)、「マイナスの影響

が出たが回復した」(7%)、「今後発生の可能性あり」(7%)が他業種に比べ最も低くなっています。

実施した対応策(複数回答)

「感染防止策の徹底」 83%

「借入等による資金調達」 39%

「時短や休業等の業務縮小」 24%

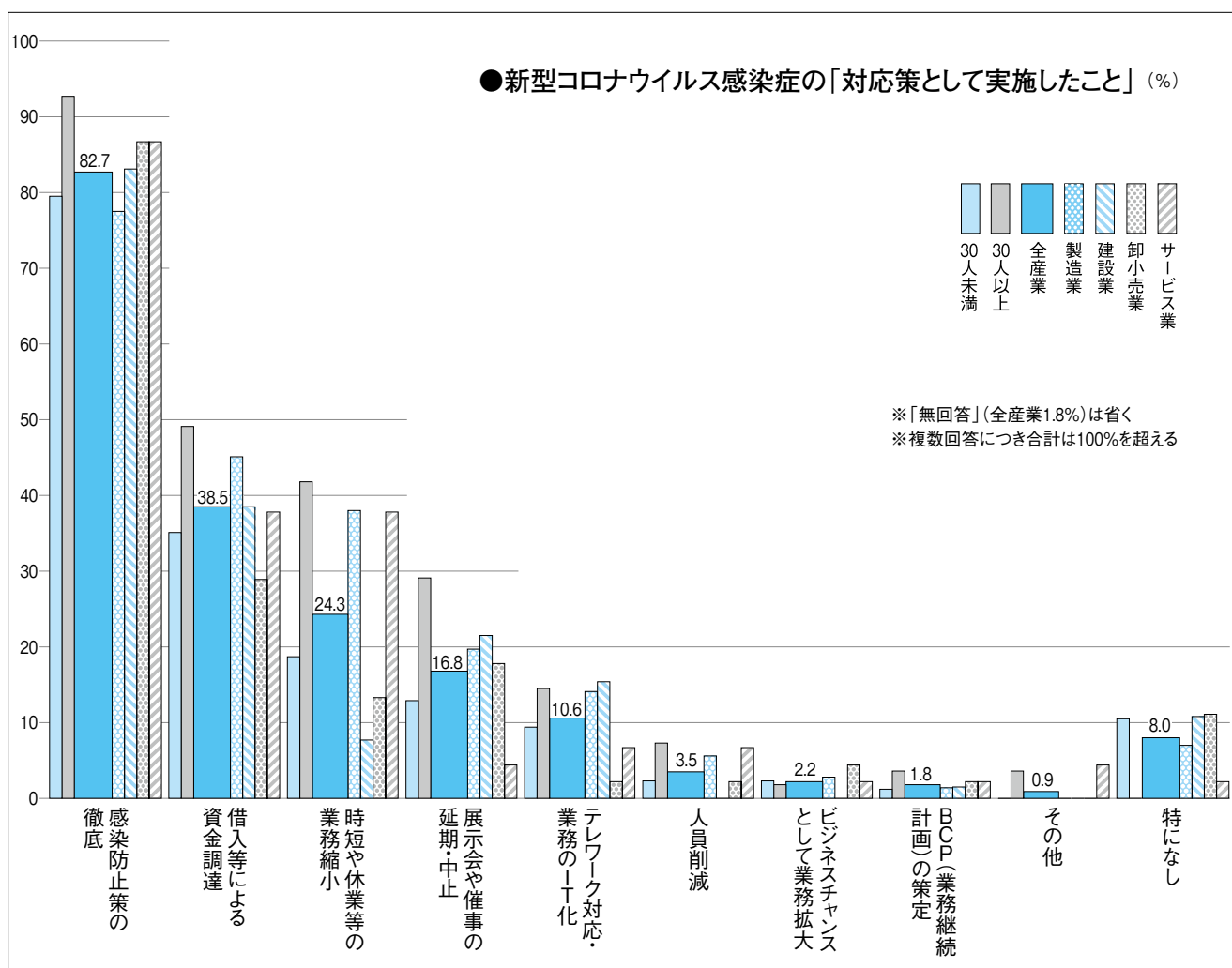
「展示会や催事の延期・中止」 17%

「テレワーク対応・業務のIT化」 11%

「新型コロナウイルス感染症の対応策として、どんなことを実施したか」を聞きました。

最も多かったのが「感染防止策の徹底」(83%)で、次いで「借入等による資金調達」(39%)、「時短や休業等の業務縮小」(24%)、「展示会や催事の延期・中止」(17%)、「テレワーク対応・業務のIT化」(11%)が2ケタとなっています。

これらを従業員規模で比べると、30人未満は「特になし」(11%)が11%、30人以上より高くなりました。30人以上は「感染防止策の徹底」(93%)が



13社、「借入等による資金調達」(49%)が14社、「時短や休業等の業務縮小」(42%)が23社、「展示会や催事の延期・中止」(29%)が16社、「テレワーク対応・業務のIT化」(15%)が5社、「人員削減」(7%)が5社、それぞれ30人未満より高くなっています。

業種別

「借入等による資金調達」製造業 45%

「時短や休業等の業務縮小」製造業 38%

「展示会や催事の延期・中止」建設業 22%

「テレワーク対応・業務のIT化」建設業 15%

「感染防止策の徹底」卸小売業 87%・サービス業 87%

「人員削減」サービス業 7%

「ビジネスチャンスとして業務拡大」卸小売業 4%

「BCPの策定」卸小売業 2%・サービス業 2%

製造業 「借入等による資金調達」(45%)と「時短や休業等の業務縮小」(38%)が他業種に比べ最も高く、他方「BCP(業務継続計画)の策定」(1%)が他業種に比べ最も低くなりました。

建設業 「展示会や催事の延期・中止」(22%)と「テレワーク対応・業務のIT化」(15%)が他業種に比べ最も高く、他方「時短や休業等の業務縮小」

(8%)、「ビジネスチャンスとして業務拡大」(0%)、「人員削減」(0%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「感染防止策の徹底」(87%)、「ビジネスチャンスとして業務拡大」(4%)、「BCP(業務継続計画)の策定」(2%)が他業種に比べ最も高く、他方「借入等による資金調達」(29%)、「テレワーク対応・業務のIT化」(2%)が他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業 「感染防止策の徹底」(87%)、「人員削減」(7%)、「BCP(業務継続計画)の策定」(2%)が他業種に比べ最も高く、他方「展示会や催事の延期・中止」(4%)が他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「新型コロナウイルス対策で、国・自治体・金融機関等の支援策を利用したか」を予定

【調査要領】

実施期日：2021年3月上旬～中旬

実施要領：第183回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収226社(製造業71社、建設業65社、

卸小売業45社、サービス業45社)

うち従業員30人未満171社(75.7%)

「新型コロナウイルス感染症」に関する企業からのコメント

製造業

◇今の方策では感染症が増えたり減ったりするだけで、結果的に良くはならない。短期間の強制的な非常事態宣言で対応すべき。

◇変異ウイルスの感染拡大を封じ込める対策を考えることが大事。

◇ワクチンの供給に関しては、明らかに後手に回っていると感じる。かつて日本はワクチン研究では先進国であったのに。

建築業

◇ワクチン接種の順序を間違えないでもらいたい。世界との協調を計りながら、母国を守る政策を期待している。

◇規制を緩めて、景気を良くし、同時に感染者を減らすには、官民が協力しながらワクチン接種率を上げていくしか方法は無いと考える。

◇給付金などの一律のバラマキよりも国民全員に、ワクチン接種の早期実施をお願いしたい。

卸小売業

◇飲食店、ホテルや旅館などへの支援は充実しているが、他の業界への支援が不足していることを強く感じている。

◇経済なのか生命なのか中途半端で、両方の間を振られていて目処が立たない。ニュージーランドや台湾を見習ってほしい。

サービス業

◇緊急事態宣言をするのはよいが、もっと細かくエリアを分けて、人の動きを止めるべき。例えば、東京都発令で八王子も止めてしまう。人口密度や感染者数の多いエリアで実施するべきだと感じている。

◇感染防止策を徹底して感染を押さえ込み、第4・第5波を出さないようにしてほしい。

◇緊急事態宣言解除による感染の再拡大が懸念される。緩和の時期は慎重な判断をお願いしたい。

●新型コロナ対策の重要事項

「治療薬・ワクチンの普及」80% 「医療体制の充実」40%

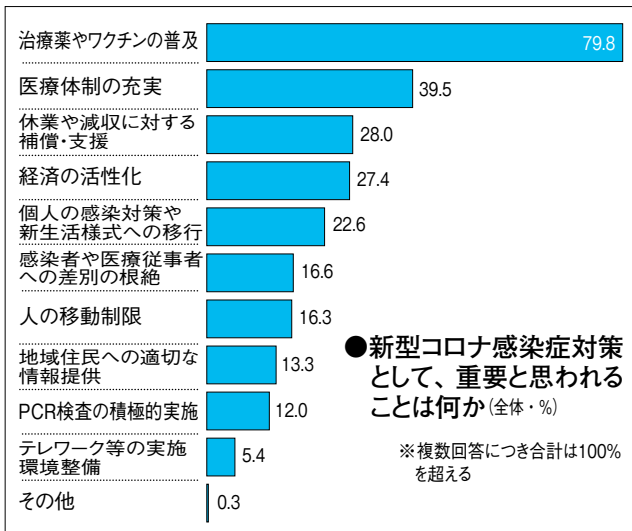
「休業・減収の補償・支援」28% 「経済の活性化」27% 「個人の感染対策・新生活様式」23%

待ち望まれる「治療薬・ワクチンの普及」

「新型コロナ感染症対策として、重要と思われることは何か」(主なもの3つ以内)を聞きました。

ダントツの「治療薬やワクチンの普及」(80%)をはじめ、「医療体制の充実」(40%)、「休業や減収に対する補償・支援」(28%)、「経済の活性化」(27%)、「個人の感染対策や新生活様式への移行」(23%)が20%を超えています。そのあと「感染者や医療従事者への差別の根絶」「人の移動制限」「地域住民への適切な情報提供」「PCR検査の積極的実施」が2ケタとなりました。

男女別で上位を見ると、男性の2位は「医療体制の充実」と「経済の活性化」が同率(33%)で並び、女性の2位は「医療体制の充実」(49%)、3位は「休業や減収に対する補償・支援」(31%)となっています。

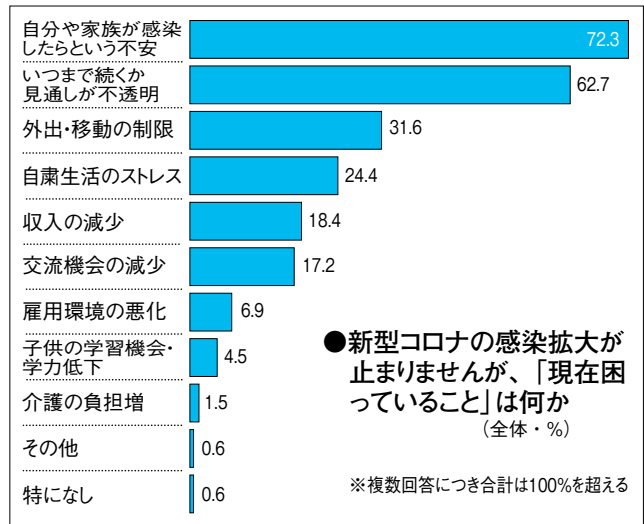


世代別で上位を見ると、10～20代で3位と4位が入れ替わっています。

1～3位 男女別・世代別とも同じ

「新型コロナの感染拡大が止まりませんが、現在困っていることは何か」(主なもの3つ以内)を聞きました。

1位は「自分や家族が感染したらという不安」(全体72%)、2位は「いつまで続くか見通しが不透明」(同63%)、3位は「外出・移動の制限」(同32%)で、男女別・世代別ともに変わりはありません。



【調査要領】

実施期日：2021年3月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客332人(男性198人・女性134人)

調査要領：アンケート用紙に記述(無記名)

「新型コロナウイルス感染症」に関する生活者からのコメント

- ◇一年以上続く自粛生活の中で、コロナに対する危機意識が下がりつつあるように思う。感染拡大しないように、どのような生活をすべきか、改めて考える必要があると思う。(20代女性)
- ◇政府と国民の感覚のズレを感じる。給付金などの一律のバラマキ政策により、将来の税負担がどうなるのか、非常に不安に思う。(20代男性)
- ◇子どもの学習機会や社会体験などの場が減っている。コロナが収束し、子どもが毎日楽しく生活できる環境に戻ることを切に願います。(30代女性)
- ◇自粛生活が辛くコロナに疲れました。一日も早く、マスクをしないで済む生活がしたい。(30代男性)

- ◇コロナ禍前の生活や経済環境に戻ることは困難であり、コロナといかに共生していくかを考えることが重要ではないか。(40代男性)
- ◇東京オリンピックを開催することによる変異ウイルスの拡大リスクが心配になる。(50代女性)
- ◇様々な行事やイベント等が中止になったことは残念に思うが、無駄な会議や懇親会が中止になって良かったと思うことも多くある。社会のありようを見直すよい機会になったと思う。(60代以上女性)
- ◇経済活動と感染予防対策のバランスは大事だが、あえて極端な舵取りで早期に終息を計るべきではないかと思う。(60代以上男性)

北信濃 江戸時代の風景

(80) 善光寺門前

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、江戸時代に善光寺門前で売られていた観光案内図「信州川中嶋古跡順道手引草之図」を、少しずつ切り取って紹介します。

丹波島の渡しから善光寺へ

下(南)に弧を描くように流れているのが、犀川です。その中央が、現在の丹波島橋の位置にあった丹波島の渡しで、そこから北に地名が連なっているのが北国街道です。その突き当りには善光寺があるはずですが、この図では見えません。

この街道は、中山道の追分宿(軽井沢町追分)から、小諸、上田の城下を通して善光寺に至り、右に折れて越後方面に通じています。丹波島橋から北は、県庁通りの東側に並行するように、旧街道が残っています。長野駅近くの末広町交差点から北は、大正時代末に拡幅されて中央通りと呼ばれ

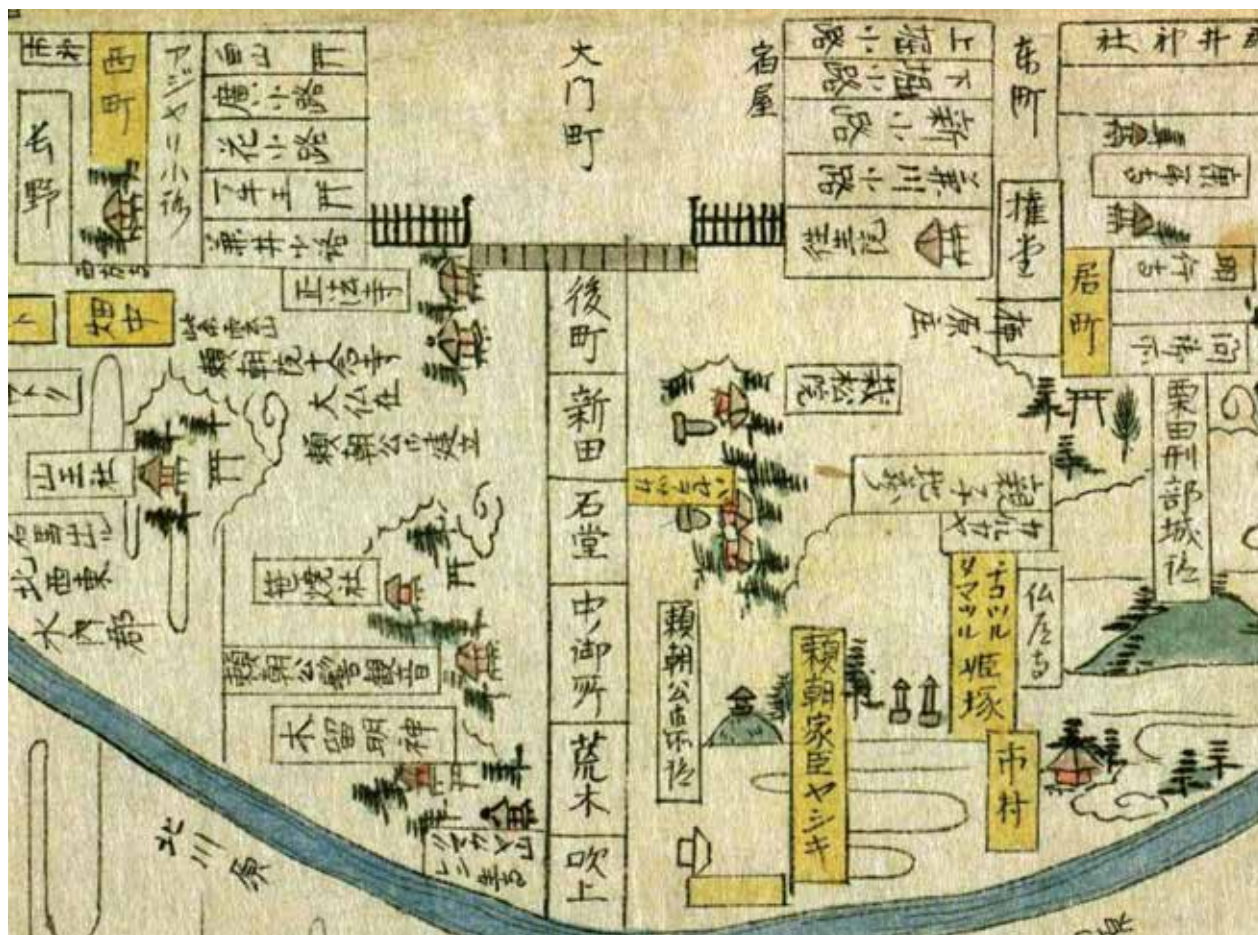
ています。近年は、善光寺表参道という言い方も定着してきました。この旧街道を、図を見ながら丹波島の渡しから北上してみましょう。

吹上と荒木

現在の長野市若里地区です。若里は、明治9年に市村と荒木村が合併して若里村になったことに始まる新しい地名です。「市村」は、図の右下に書かれていて、村内の「仏導寺」も描かれています。これは、現在もビッグハットの北西にある寺院です。

その脇には、「チヨツル、タマツル、姫塚」があって、2基の石塔が描かれています。これは信州大学工学部の西隣にある姫塚で、善光寺七塚の1つです。現在は熊谷直実の娘、玉鶴姫の墓とされていますが、江戸時代には玉鶴姫と千代鶴姫の姉妹の物語が語られていたようです。

「信州川中嶋古跡順道手引草之図」の一部(国立国会図書館蔵「扶桑探勝図」より)



荒木村は天領(幕府領)の村でした。吹上は荒木村の村内の地名で、街道沿いに茶屋があり、吹上そばが名物でした。現在でも吹上地藏堂(若里1丁目)などにその名を残しています。

図では「荒木」の左下に寺院が描かれていて、「クマカヤ山レン生寺」と書かれています。これは「一行山蓮心寺」の誤りで、埼玉県熊谷市にある熊谷山蓮生寺と混同しているのでしょう。

「荒木」の西側には、善光寺七社の「木留明神(神社)」があります。

中ノ御所

現在の中御所ですが、昔は「ナカノゴショ」と「の」を入れるのが普通でした。右に「頼朝公御所跡」とあるように、源頼朝が善光寺参りの折に宿泊したことから「御所」の地名が起ったとされています。その遺跡を示すらしい塚も描かれています。またその右に「頼朝家臣ヤシキ」と記されていて、そうした伝承があったことがうかがえます。

左には「頼朝公髻観音」があります。これは、頼朝が髻に入れていた観音像をまつたという観音寺(中御所2丁目)です。その北の「笹焼社」は、中御所村の鎮守で善光寺七社の柳原神社です。

石堂

現在は北石堂町と南石堂町に分かれています。ここは妻科村の石堂組で、北石堂から北は街並みが続く市街地となっていました。右側に2つの堂があるのは、かるかや山西光寺です。本尊は親子地藏尊で、2つの堂は本尊が2体あることを表しているのでしょう。「ハセヲツカ」(芭蕉塚)があって石碑が描かれているのは、西光寺の境内にある芭蕉の句碑です。

新田

現在の新田町で、石堂と同じようにこちらでも妻科村の新田組です。右側にある「栽松院」は、ずっと右に書かれている「問御所」村に属しています。



西後町の十念寺入口。「紫雲山頼朝院十念寺」の石標が立つ

越後の椎谷藩領だった問御所村は、現在の長野市役所付近(緑町)まで広がっていました。

後町

現在の西後町と東後町です。西後町は松代藩領で、東後町は善光寺領でした。西後町に寺があり、「紫雲山頼朝院十念寺、大仏在、頼朝公御建立」と書かれています。ここは頼朝が創建したという十念寺で、現在も「紫雲山頼朝院十念寺」の石標が建っています。また大仏堂があって、出世大仏と呼ばれる大仏が安置されています。

十念寺に続いて、「正法寺」があります。これは現在の浄土真宗本願寺派長野別院です。

大門町

石橋を渡って、「大門町」に入ります。ここは善光寺宿で、極端に幅広く描かれています。左側(西側)には「兼井小路」(鐘鑄小路)「花小路」「広小路」といった小路があります。「一ノ牛王」は現在の長野信用金庫大門町支店脇の熊野神社で、「白山」は三社としてまつられています。

右側(東側)には、「兼川小路」「新小路」「下堀小路」「上堀小路」があります。「兼川小路」は、鐘鑄川沿いにあった鐘鑄小路の誤りでしょう。

5月号は「善光寺境内」の予定です。

「新型コロナウイルス感染症」で
影響を受けている
事業者さま向け

対面・リモート
選択方式

毎週 実施期間…令和3年4月2日(金)～6月25日(金)
金曜日 午前(3コマ) ● 9:30～・10:30～・11:30～
開催 午後(3コマ) ● 13:00～・14:00～・15:00～

リモート相談
の場合

「Zoom」によるオンライン面談

対面相談
の場合

会場：長野しんきん 本店営業部
長野市居町133-1

お問い合わせ：TEL 026-228-0221

各回
30分
無料

よろず
万相談会

長野しんきんビジネスフェア2021 オンライン商談会



長野信用金庫では、新たなビジネス機会の創出
の場として、「長野しんきんビジネスフェア2021
オンライン商談会」をスタートします。
お取引企業さまの販路開拓を支援する取り組みと
して1年にわたりオンライン商談会を実施し、ビ
ジネスフェアの新たな魅力を発信してまいります。

◆商談のお申込み
はこちら



◆特別開催期間

2021年5月12日・13日・14日

開催期間中は商談ルームを大幅に増設して、
マッチングを徹底的にサポートします！

来場・オンライン同時開催

参加費
無料



創業カレッジは、創業をするうえで必要となる実
践的な知識を学ぶことができるスクール形式の講
座です。学びたい講座を1コマから受講できます。
この機会に学んでみませんか？

お問い合わせ先：TEL 026-228-0221 長野信用金庫「地域みらい応援部」

●みなさまの税務相談のご案内 [5月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
5月 7日 金	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	5月 19日 水	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
11日 火	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	21日 金	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
12日 水	大豆島支店 (長池支店)		25日 火	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)
13日 木	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	27日 木	本店営業部	
14日 金	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	28日 金	本 部	
18日 火	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	31日 月	本 部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

